



八大学工学系連合会声明

「未来を創る女性理工系人材と博士人材を社会へ」

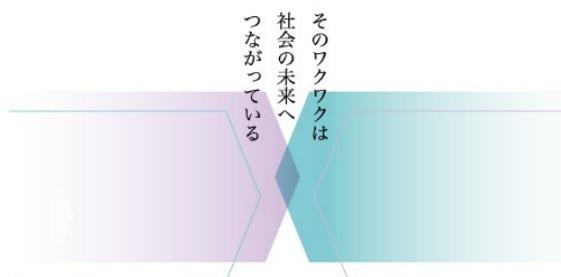
～工学のいまを皆様に～

【概要・趣旨】

北海道大学、東北大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学の工学系学部と研究科などで構成する「一般社団法人八大学工学系連合会」は、女性理工系人材と博士人材の育成について声明を発表しました。

現在、社会が直面する課題は、少子高齢化、気候変動、貧困など複雑さと困難さを増しており、多様な価値観と新たな知恵をもって課題に向き合う必要があります。工学分野においてもイノベーション創出に不可欠な要素として、女性と博士に対する期待は大きくなっています。この社会の要請に応えるため、女子学生比率の向上に向けて、工学の魅力発信、女子枠に代表される多様な入試制度の導入、生活・学習環境の整備を進めます。博士人材については、産学協創により、社会と大学の双方向教育を推進し、「専門を深掘する博士」だけでなく、「新しい価値を創造する人材」、「イノベーションを創出できる人材」を育成します。

また、こうした取り組みの情報発信強化のため、「つながる工学ウェブ (<https://8uea.org/sp/>)」を新設し、各大学で行うイベントをまとめてご覧いただけるようにいたします。



未来を創る女性理工系人材と博士人材を社会へ
～工学のいまを皆様に～

新設ウェブサイトのトップページ

